

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012年11月28日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) サイキョウギンコウ</p> <p>株式会社西京銀行</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 株式会社西京銀行</p> <p>所在地： 〒745-0015 山口県周南市平和通1-10-2</p> <p>部署名： 地域連携部</p> <p>役職名： 副調査役</p> <p>氏 名： 新本 幸</p> <p>TEL： 0834-22-7665 FAX： 0834-27-1733</p> <p>E-Mail： renkei-1@saikyobank.co.jp</p>
ホームページ	<p>http://www.saikyobank.co.jp/</p>
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大2000字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>山口県周南市に本店を置く第二地方銀行。事業内容は預金業務、貸出業務、有価証券売買業務・投資業務、為替業務など</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第 1 回カーボン・オフセット大賞の 1 次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1st.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

周南冬のツリーまつりの開催における電力の使用のカーボン・オフセット

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の 4 分類からひとつ選び、□をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準 (Ver. 1.1)」に基づく分類

http://www.jcs.go.jp/pdf/document/ki_jun.pdf

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

対象：周南冬のツリーまつり

バウンダリ：イルミネーションにおける電力使用
ファンタジックナイトにおける電力使用

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

- 周南冬のツリーまつり 2011
・2011 年 12 月 2 日～2011 年 12 月 25 日
- 周南冬のツリーまつり 2012
・2012 年 11 月 2 日～2012 年 12 月 25 日

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

■プレスリリース
<http://www.saikyobank.co.jp/information/pressrelease/docs/201111181.pdf>

■「地域密着型金融」推進計画 平成 23 年度の取組状況
http://www.saikyobank.co.jp/corporate/friendlybank/120810_1.pdf

■新聞掲載
2011/11/29 日経新聞
2011/11/25 山口新聞
2011/12/02 朝日新聞
2011/12/06 山口新聞

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 算定方法

<電力使用量> × <排出係数>

①-2 計算詳細

項目	2011年度	2012年度
電力使用量	23,038kWh	6,208kWh
排出係数	0.491kg-CO2/kWh※1	0.502kg-CO2/kWh※2
CO2排出量	11,311kg-CO2	3,116kg-CO2
オフセット量	12t-CO2	4t-CO2

※1：中国電力株式会社『2011 エネルギアグループ CSR 報告書』へ記載された CO2 排出原単位 2010 年度実績を用いています。

※2：中国電力株式会社『2012 エネルギアグループ CSR 報告書』へ記載された CO2 排出原単位 2011 年度実績を用いています。

①-3 排出量の算定に利用したデータ種類 電力使用量

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ

その他 ()

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

■2011年度

国内クレジット 100%

■2012年度

国内クレジット 75%

J-VER 25%

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

■2011年度

山口県内のショッピングモールにおける照明設備の省エネ化 00616-1~00616-12

■2012年度

国内クレジット：山口県内のショッピングモールにおける照明設備の省エネ化 00616-91~00616-93

J-VER：

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

■2011年度

2011年12月8日

■2012年度

償却及び無効化申請済

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

- ① CO2 排出削減努力の項目（内容）について、期待した効果とその成果について具体的かつより定量的にアピールしてください。

取得した国内クレジット（排出権）を利用して、地域イベントの応援、自らの排出削減等に取り組むとともに、環境保全に積極的な地元企業様に対する金融商品・サービスの提供することができました。

- ② CO2 排出削減努力の必要性・重要性について関係者の理解と協力を得るにあたっての工夫とその成果をアピールしてください。

当行は、「環境保全活動への取組」にて、基本方針と指針を公表しています。その中に、今現在取り組んでいるもの、環境保全に配慮した金融商品、今後の取組の具体的内容についても具体的に公表し、必要性、重要性の理解を得ております。

2. カーボン・オフセットの内容

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組の意義・重要性について

「周南冬のツリーまつり」のカーボン・オフセットの取り組みは、山口県内の企業の CO2 削減活動により創出された排出権を、当行が購入し、山口県内の地域イベントに提供してオフセットするという CO2 の地域循環（CO2 の地産地消）を実現しております。地域における環境保全活動の支援をするとともに、カーボン・オフセットの普及啓発を通じて地域の環境配慮への意識向上を促進することに貢献しています。

また、今年度の「周南冬のツリーまつり」のカーボン・オフセットは、被災地県産の J-VER を使用し被災地の復興支援にも貢献致します。

- ②自らが行うカーボン・オフセットの取組の継続性、展開への意欲や見通しについて

今年度の周南冬のツリーまつりのカーボン・オフセットも決定しており、継続して地域の環境活動の支援をまいります。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ② 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第 1 次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ・地域のイベントの環境配慮を支援
 - ・地域や社会に対する国内クレジットの使用によるクレジットにおける地消地産活動への意識付け

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組について第三者である市民に伝え、理解者の裾野を広げ巻き込み、「自分ごと化する」ために行った創意工夫（イベントの開催やツールの開発等）についてアピールしてください。

当行のホームページを通じ、周南冬のツリーまつりのカーボン・オフセットを広く告知しております。また、各種新聞に本取組が取り上げられ、多くの人々がカーボン・オフセットを認知することにつながりました。

- ② 人々や社会に与えた影響（行動様式や考え方の変化）について、実際に得られた反響も踏まえてその成果をアピールしてください。

本件の取り組みにより、当行がお客様の環境保全の取り組みに支援していることを周知することができました。今後もお客さまの環境保全活動に積極的に支援していく方針です。

5. ストーリー性

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」などをアピールしてください。

周南冬のツリーまつりのカーボン・オフセットは、山口県のクレジットで山口県のイベントをカーボン・オフセットする取り組みであり、イベントの環境配慮を図るとともに県内の CO2 削減事業を支援するという CO2 の地域循環を実現しています。地域の低炭素社会化に大きく貢献する新たな環境への配慮の形を提示することに成功しました。

- ② こうした「魅力」「面白さ」「ユニークさ」について、それを第三者である市民に伝えるために行った創意工夫についてアピールしてください。また、低炭素社会の実現にどのように貢献しているのか、アピールしてください。

当行のホームページを通じ、周南冬のツリーまつりのカーボン・オフセットを広く告知しております。また、各種新聞に本取組が取り上げられ、多くの人々がカーボン・オフセットを認知することにつながりました。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG等）お送りください。

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局

（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7階

電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp